

# 株式会社 赤川硬質硝子工業所



## 企業概要

設立: 1951年11月29日  
 役員: 代表取締役社長 田邊 香  
 取締役工場長 武江壮治郎  
 社外取締役 田邊 大  
 資本金: 20百万円  
 本社住所: 大阪市旭区生江 1-2-20 TEL 06-6922-3691  
 ホームページ: <http://www.akagawa-glass.co.jp>  
 取扱品目: 硝子

## 代表者挨拶

他で造ってないもの  
 造って面白いもの  
 ガラスでないとできないもの

それに、こだわって造っていきたく思います。

代表取締役社長 田邊 香



## 主要製品



半自動型  
横方向成形管



ナノポーラスガラス  
(NPG)

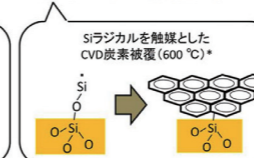
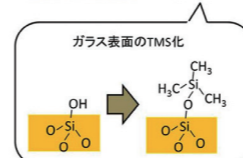


炭素被覆ナノポーラスガラス  
(C-NPG)



トリメチルシリル化  
(TMS化)

化学気相蒸着  
(CVD)



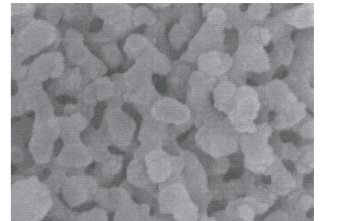
\*Y. Hoshikawa, A. Castro-Muñiz, T. Kyotani, et al., Carbon 67 (2014) 156-167.



Your ideas. Your glass.



このガラスは、ナノサイズの穴が開いており、気体を通すことができます。また、穴の大きさをコントロールすることにより、ある気体を通し、別の気体は通さないというものを造れます。



## わが社の歩み

### 特殊な硝子の開発から製造まで

- |  |   |
|--|---|
| 胃カメラ用硝子、腕時計用化学強化硝子をはじめ、航空・宇宙用から寺社の宝物・墓石用硝子まで。また、お客様の試作のお手伝い。<br>弊社は、小ロットでお客様が要望する特殊な硝子を開発から製造まで行っています。 | 1972年7月 徐冷炉他生産設備一式を増設<br>8月 小型電気連続溶融炉(3.5ton)を増設。特殊品目の連続溶融生産を開始 |
| 1929年 田辺硬質硝子製造所設立  | 1982年4月 田邊 嘉宗が代表取締役に就任  |
| 1951年11月 有限会社赤川硬質硝子工業所設立、硬質硝子管及び理化学硝子の製造を開始(田辺硬質硝子製造所赤川工場を分離独立)  | 1991年4月 白金小型管引き炉を増設<br>1992年4月 白金連続ガス溶融炉を増設                     |
| 1954年9月 田邊 嘉市が代表取締役に就任   | 1993年4月 多田 嘉宏が代表取締役に就任  |
| 1964年3月 工場改造第一期工事完成<br>5月 資本金500万円に増資  | 2000年4月 白金連続電気溶融炉を増設  |
| 1965年2月 工場改造第二期工事完成。溶融炉一基増設  | 2005年11月 化学強化用硝子板連続製造用タンク炉設置のため森ノ宮工場を開設                         |
| 1968年9月 組織を変更し株式会社とする  | 2006年3月 田邊 香が代表取締役に就任   |
| 1969年2月 資本金2000万円に増資   | 2007年7月 尼崎工場開設<br>10月 尼崎工場2ライン稼働のため、森ノ宮工場閉鎖                     |
| 1970年9月 工場改造第三期工事完成。溶融炉一基を大改造、単独炉一基を増設   | 2009年11月 尼崎工場閉鎖   |
|  | 2012年1月 本社第一タンク生産停止<br>11月 単独炉14号増設<br>12月 連帯窯生産停止              |
|  | 2013年4月 単独炉15号、16号増設  |
|  | 2016年10月 単独炉14号を小焔用マッフル炉に改良                                     |